

LIBRARY WITH  
WITHOUT



3000000000

現代について「住まう」ことを考える

TALK+LIVE

村上慧

川瀬燕

Tannit Ghide

By furi uri books  
ネズミオンド

2026.3.15 Sun.

吉田寮ビリアード部屋

15:00 ~~~~~

¥1000 ADULT

500 STUDENT

0 寮生

+500 DOOR

京都大学の学生自治会である吉田寮（京都市左京区）では、これまで寮生の退去をめぐる大学側との間で訴訟が繰り返されてきた。2025年8月の大阪高裁で和解が成立後、築100年を超える現棟の耐震工事のため、被告の寮生たちは2026年3月までに寮を退去することが決定している。しかし、その後の対応について、大学側は寮生たちとの対話を拒絶しており、耐震工事を口実にした現棟の取り壊しや新棟に居住する寮生の退去が危惧されている。

以上の吉田寮をめぐる問題を糸口に、本イベントではアーティスト、人類学者を招き、この不安定な世の中で「住まう」ことについてさまざまな角度から言葉と音で対話していただく。仮にこれまで住んでいた建物が失われた場合、その土地で私たちはいかに「住まう」ことができるのだろうか。そこに新たな居場所は生まれるのだろうか。「住まう」とは、決して建物と居住者のみの関係に還元できるものではなく、環境、音、歴史、コミュニティといったさまざまな要素が交錯する営みである。この生きる上で不可欠な「住まう」ことを、建築から、また建築から離れながら考え直してみたい。

村上慧（むらかみ・さとし）

アーティスト。長野、千葉、東京を拠点に活動。主な展覧会に「村上慧 移住を生活する」（金沢 21 世紀美術館 /2020）など。最近『増補版 イメージと正体の調査報告』（盆地 Edition）という本を出しました。



川瀬慈（かわせ・いつし）

国立民族学博物館および総合研究大学院大学教授。エチオピアの吟遊詩人研究を起点に、学術・文学・映像の領域を横断的に探求。欧州、アフリカ、アジア各地で教鞭をとり、映像とことばを通じて、人類の営みに潜む叡智を照射する。



Tmrit Ghide（ティムニットウ・ギデ）

エリトリアにルーツを持つサウンドアーティスト・研究者・カルチュラルワーカー。ベルリンを拠点に、音を社会政治的なアーカイブとして探求する。音楽プラットフォーム「ALVOZAY」を共同設立。ラジオホスト、DJ、映像作家としても活動。



©Yullia Sudarchykova



事前予約は QR コードから  
（当日受付の場合、お席が準備できない可能性があります）

その他お問い合わせはこちらまで：  
furiuribooks@gmail.com